

ふくし 福祉の里



▲HPはこちら

〒022-0006 岩手県大船渡市立根町字田ノ上30-20
電話 0192-27-0294 / FAX 0192-27-4386

ボランティアフェスティバル

市内のボランティア団体が一堂に会し、交流促進と新たな人材開拓を目的とした「2025おおふなとボランティアフェスティバル」を、当センターとY・Sセンターの2会場で開催しました。



小雨の降る中、多くの市民の皆さんが来場し、展示コーナーや体験ブースで各団体の活動内容や魅力に触れていました。ステージでは、市内の合唱団や、いかわこども園の園児によるダンスなどが披露されると会場から温かい拍手が送られ、シンガーソングライター松本哲也さんの熱唱には会場全体が引き込まれるように聴き入っていました。

また、車いすバスケットボール体験会やバザー、物販コーナーやキッチンカーも設けられ、イベントを通じて支え合いの輪の広がりを感じられる一日となりました。



社会福祉従事者等専門研修会

社会福祉施設等に従事する方々を対象に、『明日から使える認知症介護技術』をテーマに研修会を開催しました。

株式会社悠々会の代表で認知症介護指導者の熊谷光二氏を講師に迎え、認知症への理解を深め、より質の高いケアの実践を学びました。

前半は、「脳の機能」「認知機能障害」「原因疾患」「心理的背景」など、なぜそのような行動が起こるのかという視点から解説。単に症状を見るのではなく、その行動の背後にある心理的・身体的要因を理解する重要性について認識を深めました。

後半はグループに分かれ、事例をもとに利用者の行動や心理状態について意見交換し、自施設の事例とも照らし合わせながら、ケアの有り方や今後の業務に活かせる多くの気づきを得る機会となったようです。



里内ニュースポーツ教室

大船渡市立吉浜小学校1、2年生を対象に、バグーとビーンボウリングを実施しました。

バグーは個人戦で行い、練習段階では3m先のボードに向かってビーンバッグを投げる力加減に戸惑う様子も見られましたが、回を重ねるごとにボードに乗る場面が増えていきました。

また、ビーンボウリングでは、ストライクを狙い慎重に考えながら投球する姿が印象的でした。



急遽、追加でポッチャも行い、球拾いを協力し合うなど子供達の意欲と笑顔あふれる時間となりました。

里外キャップ・ハンディ体験

陸前高田市立米崎小学校5年生を対象に、高齢者疑似体験を実施しました。

児童たちは装具を身に付け、衣服の着脱、階段の上り下り、起き上がりなどの日常動作を行い、高齢者が直面する困難や不安を体感しました。

体験後は、「手紙を書く時は見やすい色にした」「足が重くて転びそうになり怖かった」「高齢者の気持ちがわかった



ので困っていたら助けてほしい」など、相手の立場になってどんな手助けが出来るか、今後につながる感想が寄せられました。

福祉体験学習

大船渡市立綾里小学校4学年を対象に、施設見学及びキャップ・ハンディ体験を行いました。

所長の案内のもと館内を周り、設備の役割や利用目的などの説明を受けながら、児童たちは興味津々な眼差しで見学していました。

白杖体験では、単独歩行で点字ブロックの上を進み、介助歩行ではスロープや段差を含むコースを周りました。始めは戸惑いながらも、しだいに声かけやサポートの大切さに気付く様子が見られました。



また、点字体験では、自分の名前を打つ作業を通じ点字を身近に感じてもらうとともに、触れて読み取る難しさも実感している様子でした。

グラウンド・ゴルフ大会

9月に「第20回福祉の里センター杯」グラウンド・ゴルフ岩手県大会を開催しました。

当日は早朝よりあいにくの雨模様となり、大会の実施が危ぶまれましたが、天候の回復を見込み予定通り行いました。グラウンドのコンディションは非常に厳しく、ボールを打つたび水しぶき上がるような状態ではありましたが、参加者の皆さんはそのような環境をものともせずプレーに打ち込んでいました。

なお、毎年ご好評をいただいております副賞・海産物の抽選会は、今回を持ちまして終了いたしますが、引き続き親睦と交流の場としてご参加をお待ちしております。



岩手県ポッチャ大会

11月に行った「第29回大洋会杯」では16チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。

戦術を駆使した頭脳戦はもちろん、思わぬ方向に転がったボールが得点につながるなど、予測不能な試合展開も楽しまれていました。



優勝【カメラア・ブルー】

歌をたのしむ会～四季の歌を添えて～

10月より後期がスタートしました。今期は、久しぶりにピアノ伴奏に合わせて歌う機会がありました。参加者の皆さんからは「久しぶりに伴奏に合わせて歌い楽しかったです」などの声が聞かれ、賑やかに行われました。今後もグッと寒い時期が続きますが、参加者の皆さんと元気に歌えることを楽しみにしています。



気仙シニア大学

大船渡市観光ガイドを務める佐藤公精氏と大船渡商工会議所より今野顕彦氏を講師に迎え、「俵物三品と気仙丸」をテーマに講義を行いました。江戸時代に長崎から中国へ輸出され重宝された干したアワビ・ナマコ・フカヒレを紹介し、当時の木造船による流通や産業的背景について解説。活発な質疑応答も交え、会場は終始盛り上がりました。あわせて、気仙地域の名家の歴史や「気仙丸」建造に至るまでの経緯も語られ、参加者は会場に展示された乾燥食材を手に、当時の交易文化に思いを馳せていました。



芸能ボランティアの会

▼ 野の花会



◀ フラ・カメラア



～施設慰問～

▲ さくら会

草刈りボランティア

大船渡シルバーセンターの皆さま約50名に、今年も敷地内の草刈りや落ち葉集め、花壇の手入れなどご尽力をいただきました。快適に過ごせる環境づくりに多大なるご協力をいただき感謝申し上げます。

